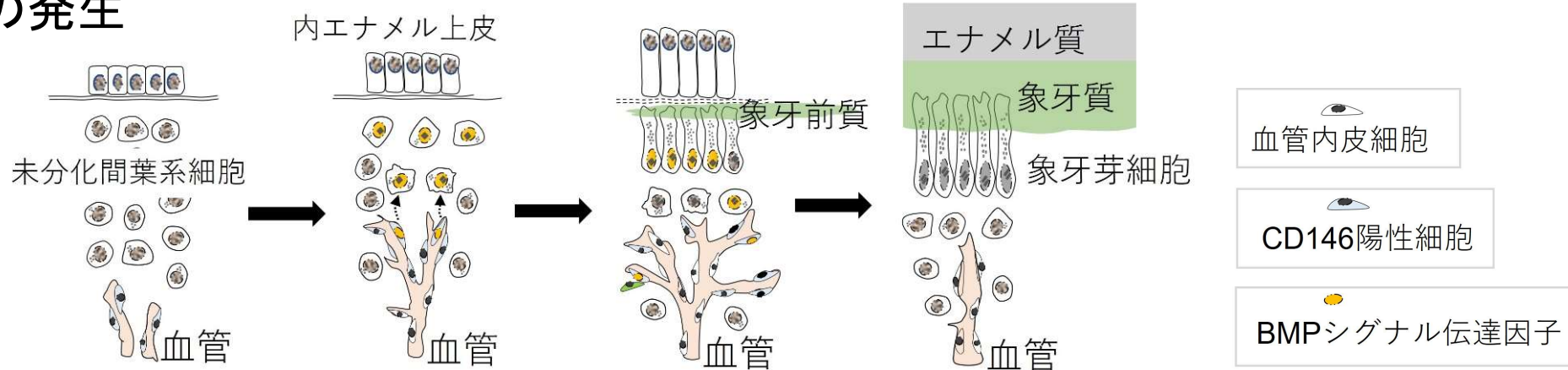


CD146は血管内皮細胞などで発現する膜タンパク質で、間葉系幹細胞のマーカー遺伝子として知られています。我々の研究グループは、象牙質形成初期にCD146陽性の細胞が象牙芽細胞へ分化する可能性を見いだしました。この結果は、象牙質を再生する歯科治療への応用も期待されています。

歯の発生



象牙質の形成に先立ってCD146陽性細胞は血管周囲に出現した。いくつかの陽性細胞は、象牙芽細胞へ分化する特徴を示したが、象牙質の形成が進行すると陽性細胞は消退した。

象牙質の修復



欠損した象牙質の修復の際にも、CD146陽性細胞が出現した後に修復象牙質が形成された。しかしながら、時間の経過とともに、CD146陽性細胞は消退した。